

DS-Gシリーズをお買い上げのお客さまへ

—取扱説明書変更点のお知らせ—

このたびは日立デジタルレコーダーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

お買い上げいただいた製品は、使い勝手の向上や機能追加による仕様変更のため、操作方法などが取扱説明書の記載内容より一部変更になっております。DS-G360/350/350R/260/250/150をお使いになるときは、本書に記載の変更点にご注意いただき、取扱説明書と合わせてご使用ください。

主な変更内容

メインメニューに「カメラコントロール」機能追加 ……………2

●22ページ（※DS-G150は、21ページ）

項目	内容	
カメラコントロール	カメラ設定	操作するカメラの種別とIDを設定します。

ネットワークの「シリアル」RS-232Cに「カメラ」機能追加 ……………3

●117ページ（※DS-G150は、107ページ）

RS-232C端子に「RS-232C/RS-485変換器」経由で接続したカメラを操作することができます。

セキュリティナビゲーションメニューに「メニュー設定ロック」「カメラコントロール」機能追加 …2、3、4

●23ページ（※DS-G150は、22ページ）

項目	内容
メニュー設定ロック	メニュー画面からの設定変更をできないようにします。
カメラコントロール	接続したパン・チルトカメラを操作します。

モードロックの「操作権限」メニュー、ナビに「カメラコントロール設定」、「カメラコントロール」機能追加

●102、103ページ（※DS-G150は、91、92ページ）

- ・「メニュー：カメラコントロール設定」メニューが表示されなくなります。
- ・「ナビ：カメラコントロール」メニューが表示されなくなります。

一般記録設定の記録レート初期値を「10」fps→「2」fpsに変更

●41ページ（一般記録、8行目）（※DS-G150は、39ページ）

「レート：10（1秒間に10枚記録する）」→「レート：2（1秒間に2枚記録する）」

●49ページ（手順2）（※DS-G150は、45ページ）

工場出荷時は、…「レート：10」→「レート：2」

※Hモデルは変更ありません。

パン・チルトカメラを制御する

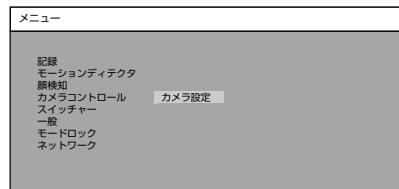
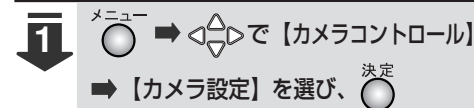
接続したパン・チルトカメラを本機の「カメラコントロール」で制御することができます。

カメラ操作するためには、事前に操作するカメラの設定を行ってください。

お知らせ

- ・カメラ操作中は、再生することはできません。
- ・カメラ制御できる機能は、接続しているカメラ機種によって異なります。
- ・異なる機種のパン・チルトカメラを混在して使用することはできません。

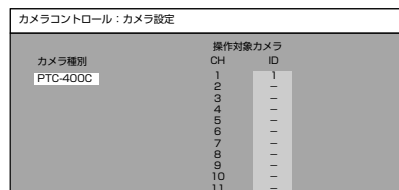
●操作するカメラの設定をする



※「顔検知」はDS-G360/260のみです。

「カメラコントロール：カメラ設定」画面が表示されます。

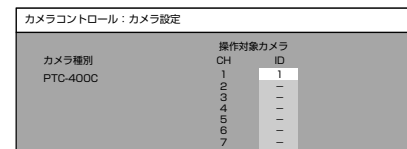
2 [カメラ種別] を選び、接続するカメラを [] で選ぶ



※DS-G150のCHは、5CHです。

「カメラ種別」：【未使用】、【NC-2】、【PTC-400C】、【DMP-1235】から選びます。

3 [] で「操作対象カメラ」を選び、 [] で、IDを設定する



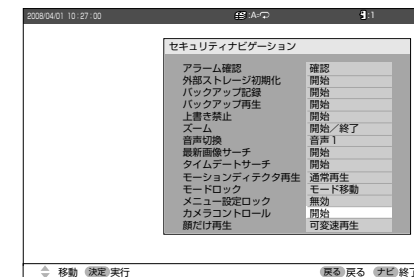
「ID」：【-】、【1】～【16】から選びます。
※DS-G150は、【-】、【1】～【5】から選びます。

- ・操作するカメラは、ID設定をしないとカメラ操作が可能になりません。
- ・「カメラ種別」が未使用の場合、設定は無効になります。
- ・同じIDを重複設定することはできません。

4 戻る

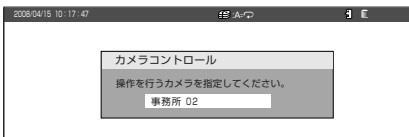
設定した内容が保存され、メニュー画面に戻ります。

●カメラの操作をする



※「顔だけ再生」はDS-G360/260のみです。
・カメラを選択する画面が表示されます。

2 [] で操作するカメラを選び、決定



CHは、「CH個別」または「CH定型名称」で設定されているチャンネル名が表示されます。
 ※「カメラ設定」で、ID設定をしたカメラのみカメラ操作が可能になります。

3

で操作する機能を選び、
 決定
 で操作する



パン
 「←」、「→」を選択し、**決定**を押すと左右に移動します。
 「←」：左側に移動します。
 「→」：右側に移動します。

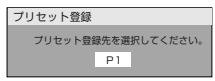
チルト
 「↑」、「↓」を選択し、**決定**を押すと上下に移動します。
 「↑」：上側に移動します。
 「↓」：下側に移動します。

ズーム
 「+」、「-」を選択し、**決定**を押すとズームイン/ズームアウトします。
 停止するときは、もう一度、**決定**を押します。
 「+」：ズームイン（望遠）します。
 「-」：ズームアウト（広角）します。

フォーカス
 AF（オートフォーカス）またはMF（マニュアルフォーカス）でフォーカス調整を行います。
 ・AF（オートフォーカス）
 「実行」を選択し、**決定**を押します。
 「実行」：AFモードに切り換わります。

・MF（マニュアルフォーカス）
 「↓」または「↑」を選択し、**決定**を押してフォーカス位置を設定します。
決定を押すと移動し、もう一度押すと停止します。
 「↓」：フォーカス位置が手前側に移動します。
 「↑」：フォーカス位置が奥側に移動します。

■プリセット登録
 任意の位置に設定した状態（パン/チルト、ズーム、フォーカス）を「P1」～「P6」に登録します。
 「登録開始」を選択し、**決定**を押すと「プリセット登録」画面が表示されます。



決定で登録先を選択し、**決定**を押してプリセット登録します。
 「P1」、「P2」、「P3」、「P4」、「P5」、「P6」から選択します。

■プリセット移動
 プリセット登録した位置へ移動します。
 登録したプリセットを選択し、**決定**を押すと登録した位置へ移動します。
 「ホーム」：あらかじめ決められているカメラ位置に移動します。
 「P1」～「P6」：プリセット登録した位置に移動します。

4

戻る
 ライブ画面に戻ります。

パソコンと接続したときの通信速度や接続機器を設定する

パソコンとRS-232Cで本機を接続して、パソコンから本機を操作するときの通信速度を設定します。また、RS-485で接続した機器を設定します。
 ・RS-232Cについては、「RS-232C通信仕様」（→137ページ）を参照してください。
 ※DS-G150は（→121ページ）

1

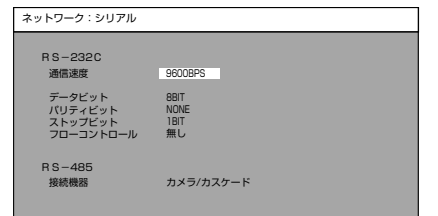
メニュー
 で
 【ネットワーク】
 →【シリアル】を選び、**決定**

※DS-G150は、「RS-232C」を選びます。
 「ネットワーク：シリアル」メニューが表示されます。
 ※DS-G150は、「ネットワーク：RS-232C」メニューが表示されます。

2

で【通信速度】または【接続機器】を選ぶ

通信速度を設定します。
 RS-232C端子に、「RS-232C/RS-485変換器」経由で接続したカメラを制御するときに「カメラ」を選択します。

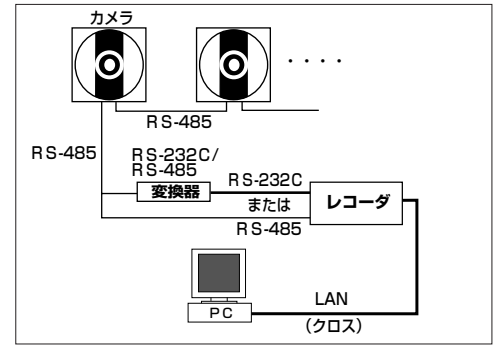


「通信速度」：【1200BPS】、【2400BPS】、【4800BPS】、【9600BPS】、【19200BPS】、【カメラ】から選びます。
 ・「カメラ」を選択すると、カメラ制御コマンドはRS-232C端子からのみ出力されます。
 「接続機器」：【カメラ/カスケード】、【外部時計】から選びます。
 ※DS-G150には、「RS485」-「接続機器」はありません。

3

メニュー
 設定した内容が保存され、モニター画面に戻ります。

■カメラ接続例



メニュー設定ロックを設定する

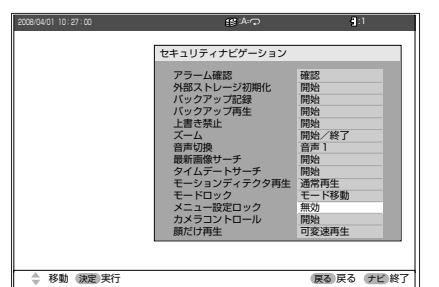
メニュー画面からの設定の変更を禁止し、参照のみが行えるようにします。

1

ナビゲーション
 セキュリティナビゲーション画面が表示されます。

2

で「メニュー設定ロック」を選び、
決定で設定する



※「顔だけ再生」はDS-G360/260のみです。
「無効」：メニュー画面において、設定の変更操作が行えます。（**決定**の実行等）
「有効」：設定の変更はできません。メニュー画面において、参照することのみできます。
 ・メニュー設定ロックが有効の場合、各設定画面下の状態表示の操作ガイドが非表示になります。

3

ナビゲーション
 ライブ画面に戻ります。